



県内の新型コロナウイルス検査体制の充実に向けて 「秋田大学 PCR ラボ」を設置

秋田大学医学系研究科(研究科長:尾野恭一)は、新型コロナウイルス検査の件数の増加を図るために、附属病院中央検査部内に研究科の講座から人員を派遣して「秋田大学 PCR ラボ」を設置します。

新型コロナウイルスは強い感染性を有することから早期診断が重要で、秋田県でも今後の第2波への準備が急がれています。なかでも、確定診断を行うために必要な PCR 検査の整備が求められていますが、PCR 検査は高い専門性を有した人材と、感染性のある検体に対応した設備を要することなどから、これまで県内での検査体制は十分ではありませんでした。

そこで、秋田大学では、附属病院中央検査部の機能を大幅に強化し、院外の検査も受け入れられる「PCR ラボ」を設置し、1日あたり100件の検査を可能にします。

今回、中央検査部には感染性物質を扱うための安全キャビネット、検査機器などを新たに整備するほか、事務員を新規に雇用して人員体制を強化します。また、検査専門医の指導のもと、臨床検査技師の技術養成を行い、担当者の業務シフトを見直すことで、安全で効率的な検査運用を目指します。さらに、医学系研究科の講座などに勤務する研究員らを柔軟に活用したバックアップ体制を取ることで、ピーク時の検査数の増加に対応します。

検査数の増加によって、院外の施設や仮設診療所などからの検査を請け負う役割を担っていくほか、ノウハウの蓄積による県内の他機関への技術指導などでさらに秋田県への貢献を目指します。

なお、秋田大学は特定機能病院としての機能を維持するため、新型コロナウイルス患者の外来診療は原則として実施しない方針です。

本件に関する説明会を下記の日程で実施いたしますので、ご出席よろしくお願いたします。

記

日 時 : 令和 2 年 6 月 10 日 (水) 10:00~

場 所 : 本道キャンパス 40 周年記念講堂

出席者 : 医学系研究科長 尾野 恭一、病院長 南谷 佳弘、呼吸器内科長 中山 勝敏
中央検査部長 植木 重治

担当 :

秋田大学大学院医学系研究科・医学部

総務課長 齋藤 建一

TEL : 018-884-6005

E-mail: ksaito@hos.akita-u.ac.jp

秋田大学PCRラボ 100件/日を可能に

